

たきた敏幸 県政報告&ニュース

2015年 春号

指定廃棄物 平成27年3月末搬出へ 舟戸大橋架け換え5億1千万予算化

森田健作知事は昨年9月県議会で、県の汚染焼却灰一時保管事業に関する滝田敏幸県議の一般質問に対し、「平成27年3月末迄に、手賀沼終末処理場における県の一時保管事業を終了する」と答弁。これを受け現在(2月20日)、3市による搬出作業が順調に実施されています。

また、東葛及び印西地区におけるゴミ処理の危機的状況を救った地元住民に対し、森田知事から敬意が表されるとともに、その互助精神が県内各方面から高く評価されました。

今後は、国の責任で設置される最終処分場が問題となります。滝田県議は11月10日に、望月義夫・環境大臣と会見し「最終処分場・早期設置要望書」を提出するなど、全力を尽くしています。

また、印旛地区の悲願である舟戸大橋の架け換え事業も、新年度で5億1千万円が予算化。本橋撤去工事が行われる予定で、事業は順調に進捗する見込みです。



高田純・札幌医科大学教授とともに手賀沼処理場の放射線調査を実施



たきた敏幸プロフィール

1960年 印西町大森生れ
大森小、印西中、我孫子高
1982年 同志社大学卒業
1999年 印西市議当選(2期)
2007年 千葉県議当選(2期)
2008年 印西市消防副団長
2010年 千葉県ラグビー協会会長
2011年 総合企画常任委員長
2013年 総務防災常任委員長

印旛明誠高校、学級増へ 総事業費6億5千万円、新年度県予算化

2010年、県立印旛高校110年の伝統を継承し印西牧の原に移転開校した印旛明誠高校は単位制の総合高校として順調に発展。

また、筑波大学や千葉大学への進学実績も上がり、地元における人気が高まるとともに志願者数も増加傾向となりました。

この状況下、印西市と印西市議会から要請を受けた滝田県議は千葉県教育庁に対し「印旛明誠高校学級増」要望活動を同校同窓会と連携し精力的に展開。

事態が大きく動いたのは昨年9月定例県議会。瀧本 寛・県教育長は滝田県議の一般質問に対し印旛明誠高校の「学校規模見直し」を答弁。そして、平成27年度県当初予算案では、3千2百万円の設計費(総事業費6億5千万：H30年供用予定)が計上されました。この新年度予算化は印旛明誠高校の更なる発展への大きな一歩であり、滝田県議の粘り強い交渉力及び森田知事をはじめとする県執行部との太いパイプ、更にその政治力が関係者に高く評価されています。

歴代国土交通大臣及び環境大臣への要望活動

'07～'15年、滝田敏幸県議は北総鉄道問題、北千葉道路建設推進、八ツ場ダム事業等で谷垣禎一、金子一義、前原誠司、太田昭宏の歴代国土交通大臣及び指定廃棄物問題で望月義夫・環境大臣と面談。千葉県と地元印西市の政治課題解決のため積極的な要望活動を展開しています。



谷垣禎一国土交通大臣(当時)と会談



安倍総理に北総の課題を説明

県政報告会&北総政経Forum

2010年より印西市に有名講師を招き、フォーラム(市民大学講座)&県政報告会を年3回のペースで開催中。毎回、多くの県民が参加し、滝田県議の政策立案の場となっています。

たきた敏幸県政報告会



1月31日森田健作知事を招いての県政報告会



鈴木 宗男
新党大地代表



佐藤 優
元外務省主任分析官



高田 純
札幌医科大学

町場再生とスポーツ振興 We love Inzai !!

国策としての地方創生が全国諸都市の課題となる中、まずは印西市の活力を引き出すことが第一。印西市議会時代に市民経済委員長を務めた滝田県議は、これまで多くの町御興し事業をプロデュース。また、国の法律に基づく中心市街地活性化基本計画の策定や成田線利便性向上と木下・小林駅舎整備にも尽力。現在も地元地域振興や若手人材育成は元より、青少年健全育成のための各種スポーツ振興に取り組んでいます。



千葉県ラグビー祭('91～)



いんざい水の郷・川めぐり('02～)



木下駅南骨董市('05～)